

ボランティアセンターだより

第52号

すこやか

令和4年11月1日発行

芦別市社会福祉協議会

ボランティアセンター

令和4年度

終活セミナー 開催！



人生100年といわれるほどの長寿社会となり、高齢期のライフスタイルが多様化しており、高齢期をよりよく生きる「終活」に社会的な関心が寄せられています。

今回のセミナーでは、人生の終末期における医療やケアに備えた意志の伝え方を学ぶとともに、芦別市で作成中の芦別版エンディングノートの活用法について意見交換を行うことを目的として開催します。

詳細については次頁にて記載しています。

発行／芦別市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター内

TEL 0124(22)2194 FAX 0124(22)5466 E-mail ashi-sya@indigo.plala.or.jp



「すこやか」は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。

これからの人生をよりよく生きるために...

終活セミナー

◆ 講 座 プ ロ グ ラ ム ◆

	開催日時	内 容	講 師
第1回	12月9日(金) 13:30~14:50 (大ホール)	「人生の終末期に備える意志の伝え方」 人生の終末期に備えて、自らが望む医療やケアについて家族や専門職などと話し合っておくことを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」といいます。誰にでもあり得るものの時に備えた意志の伝え方を学びます。	砂川市立病院 地域医療相談室入退院支援係 係長 及川 佑介 氏
	15:00~15:30 (大ホール)	「芦別版エンディングノート(暫定版)の紹介」 ACP を広く知っていただくために、芦別市民向けの小冊子(エンディングノート)を作成中です。芦別版エンディングノート(暫定版)について次週の講座に向けて説明します。	芦別市地域包括支援センター 保健師 半場 大介 氏
第2回	12月16日(金) 13:30~15:00 (ボランティアルーム)	グループワーク 「芦別版エンディングノートの活用法」 前回のセミナーに参加していただいたかたを対象に、実際に書き記したエンディングノートを用いてグループでの意見交換を行います。	芦別市地域包括支援センター 保健師 半場 大介 氏

主 催 社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会
場 所 芦別市総合福祉センター大ホール・ボランティアルーム
参加定員 各30名(先着順)
参加費 無 料
申込締切 11月30日(水)



申し込み・お問い合わせ
社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会(担当 武市)
〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 総合福祉センター内
電話 0124-22-2194 ファックス 0124-22-5466

きりとりせん

終活セミナー参加申込書

氏 名	性 別	男 ・ 女
	生年月日	S・H 年 月 日
住 所	☎ —	
受講希望講座 (希望される講座に○印を付してください)	① 12月9日(金)13:30~ ② 12月16日(金)13:30~ (①に参加されるかたを対象)	

※この申込書でいただいた個人情報については、本セミナーの運営にのみ使用いたします。

防災の日

市民講座開催

～命を守る一枚の布の魔法～



令和4年9月1日（木）一般社団法人日本風呂敷協会 代表（防災士）横山 芳江 氏を講師に招き、市民講座が開催されました。

講座では「命を守る一枚の布の魔法」をテーマとして風呂敷の基本的な結び方、給水袋や頭巾、簡易シューズなど災害時に役立つ風呂敷の多様な使い方について学びました。



講師：横山 芳江 氏



ボランティア活動保険・福祉サービス総合補償（オプション）による新型コロナウイルス感染症「入院保険金等」の支払い対象が変更となります！

治療・療養の場所		病院・診療所	宿泊施設・自宅	
対象の方		全ての方	重症化リスクの高い方	左記以外の方
医師に新型コロナウイルス感染症と診断された日	2022年9月25日以前	○	○	○
	2022年9月26日以降	○	○	×

これまで新型コロナウイルス感染症により医療機関以外の宿泊施設・自宅等で療養する場合においては、入院と同様の取り扱い（みなし入院）として、入院保険金の支払い対象としておりました。

しかし、令和4年9月26日以降については、「みなし入院」の入院保険金の支払い対象を重症化リスクがある者に限定することとなりました。

詳しくは、芦別市社会福祉協議会（ボランティアセンター）までお問い合わせください。



福祉教育に関する相談 受け付けています！



【福祉教育とは】

ふだんのくらしをしあわせにするための学びです。地域に暮らす障がいのある人や高齢者を含め、さまざまな人と関わり、学ぶことを通して多様な生き方にふれ、命の大切さやおもいやりの心、相手を理解しようとする豊かな心を育むことにつながります。

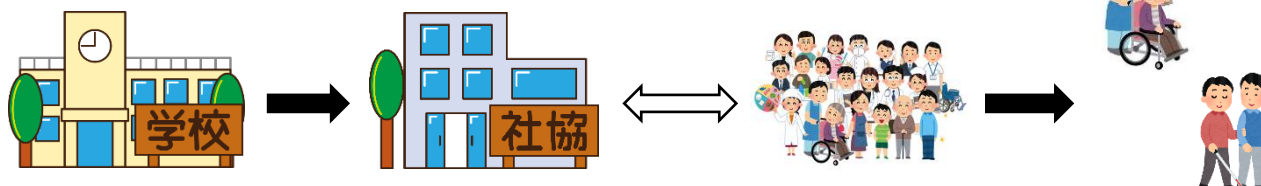
社会福祉協議会では福祉専門職員や福祉団体等と協力し、地域や学校で学習及び体験など様々な福祉教育を実践しています。

【福祉教育体験メニュー】

- ・車いす体験
- ・手話体験
- ・アイマスク歩行体験
- ・点字体験
- ・認知症サポーター養成講座
- ・妊婦体験
- ・ボランティアとは



【実施までの流れ】



① 社協に相談・打合わせ

② 講師との日程調整

③ 実施

上記で紹介している体験メニューの他にも「こんなことがしてみたい」といった希望する学習内容等ございましたら、お気軽にご相談下さい。

※ 講師との日程調整等ございますので、1ヶ月前を目途にご相談下さい。



問い合わせ 社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会
電話 0124-22-2194